

平成 30 年 4 月 3 日

都市ガス事業者初・3回連続の最高ランク取得 日本政策投資銀行「DBJ BCM格付」において

京葉ガスは、防災や事業継続への取り組みを評価する株式会社日本政策投資銀行（DBJ／本店：東京都千代田区、代表取締役社長：柳正憲）の格付け融資制度「DBJ BCM格付」において、平成 27 年、平成 28 年に続き、3回連続の最高ランク評価を取得しました。



日本政策投資銀行 廣實常務(左)より認定証を授与される当社社長・羽生(右)＝3月27日、京葉ガス本社

当社はガス事業者の社会的使命である「お客さまへの安全・安心の提供」を高いレベルで実現するために、保安の高度化と供給基盤の強靱化を重点課題とし、全社的に防災・事業継続への取り組みを推進しております。今般、この取り組みが評価され、同行の「DBJ BCM(※)格付」融資制度において最高ランクの評価を取得しました。これで当社の「DBJ BCM格付」の最高ランク取得は3回連続となり、全国の都市ガス事業者としては初となります。

これまでの評価に加え、今回の格付け審査では主に以下の点で高い評価を受けました。

- (1) 緊急保安研修センターの運用開始（平成 29 年 7 月）による保安高度化の推進、非常体制要員メンバー向けの徒歩参集訓練の再開や定期的な自治体等との合同訓練の開催等、保安・防災強化へ不断の努力を継続している点
- (2) 災害復旧支援モバイル報告システムの早期導入や着実な導管の耐震化工事等による復旧対応力の高度化を通じて、従来の目標復旧日数の大幅な設定期間の短縮化を試行し、BCPへの反映を企図している点
- (3) 従来年 1 回であった地震訓練を、全社一斉地震訓練と班別地震訓練の年 2 回へ強化するとともに、毎年の訓練テーマを明確化したうえで全体訓練を実施することで、全社を挙げて目的意識の高い訓練を実践している点

当社は今後も地震災害をはじめとする防災対策に力を入れ、引き続きガスの安定供給と保安の確保に向けた取り組みを強化していきます。

※BCM:事業継続マネジメント(Business Continuity Management)

